

支援する会ニュース

2022. 6. 30 NO. 87

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

ソウルでハンスト中、サンケン株主総会は110人！

6月23日、第86回木曜行動がのべ90人の参加で行われました。翌24日の株主総会行動には労働組合、市民団体など110人余が参加し、本社前に20本以上の組合旗などが林立するなか、株主の尾澤邦子さんの送り出しで集会が始まりました。大阪の仲間、各労組、争議団などが連帯アピール、ノレの会、ゆいの会などが歌を披露しました。総会後の尾澤さんの報告では、本社は「韓国サンケンとは雇用関係がなく、韓国の労働委員会でも決着済み」と、許し難い対応を見せました。この日はハンスト中の韓国サンケン労組からもアピールがありました。当該労組がハンストのなか本社前でも6月27日、28日、29日に緊急行動を行いました。29日午後には東京総行動の一環として東京事務所行動に争議組合などが駆けつけ、組合旗がはためくなかで代表団が「申し入れ書」を持っていきました。株主総会後には主要株主5社に要請書を送り、総会前の5社と合わせて10社に争議解決を働きかけるよう要請書を送付しました。上の写真は座込み現場アドバンスドパワーデバイス・テクノロジーズ（略称 APTC）事務所内での激励団とのスナップ写真です。以下、第86回木曜行動を報告します。



【第86回木曜行動】

23日は、ソウルで「20日占拠・籠城、22日の記者会見と集会、ハンスト突入」の中でAPTC事務所内からの発言となりました。韓国からキムヒョンガン事務長が「サンケンコリアの責任者との話し合いや本社への取り次ぎを何度も要請し、ビル前にテント籠城しましたが、本社からの指示なのか、サンケンコリアは何も応じなかった。私たちは組合員全員で合弁会社に立て籠もりするしかない」と話し合った。それでもサンケン電気が対話に応じないなら、ハンストしかないと決意した。正直怖い、私たちがハンストは初めてだ。事務所に立て籠もり、ご飯を食べないとどうなるのか。しかしこれが私たちの生きる道と考えてハンストを選択した」とハンスト突入の経過と決意を語りました。



本社前では、日本側から埼玉市民の会、T東京中部労組旭ダイヤモンド工業

がアピールしました。本社へのシュプレヒコールで志木駅へ移動しました。似顔絵パネルで埋まる志木駅南口でも韓国サンケン労組の発言が続きました。志木駅頭では、ノレの会、ゆいの会の歌と明大生協労組のアピールがありました。池袋事務所前では日本側から渡辺共同代表、

埼玉市民の会、全労働者組合、韓国良心囚を支援する会全国会議、沖縄・一坪反戦地主会 関東ブロック、尾澤邦子さんがアピール。韓国からはハンスト中の組合員から決意が語られ、シュプレヒコールで行動終了。

サンケン電気との話し合いを求めるハンスト

韓国サンケン労組は20日にサンケン電気とLGの合弁企業で技術開発会社「アドバンスド・パワーデバイス・テクノロジーズ(APTC)」に立てこもりました。なお、4階のサンケンコリアと5階のAPTCはいずれも在宅勤務状態で社員は出社していません。22日にはサンケンコリアの入居するビル前で集会と記者会見が行われました。占拠した9名のうち、8名がハンスト中で1名は対外交渉とサポート。残りの組合員3人は昌原、LG本社、サンケンコリアの籠城テントをそれぞれ維持しています。韓国では各種メディアでも好意的に報道され、KBS報道チームが取材を継続中です。民主労総委員長や公務員労組、正義党国会議員、進歩党などが激励に駆けつけています。24日には「国民衆行動」からの抗議声明が出され、29日には慶南地域からハンストを応援する「希望バス」が立てこもり現場に到着して支援集会を開催しました。警察当局は争議不介入の方針のようで、不測の事態のために保健所への協力を要請したとのこと。